



平成32年度完成を目指し整備が進められている  
柳沢北浜地区土地区画整理事業（21年3月撮影）



豊間根信議員

## 事業仕分け

# 政権交代による町への影響は

## 制度変革が予想され先行き不透明

**質問** 政府の事業仕分け作業による町第8次総合発展計画後期計画の実施、町長マニフェスト遂行において、その与える影響と対応策について問う。

**沼崎町長** 民主党マニフェストでは、地域主権を確立し地方の自主財源を増やすということを掲げているが、事業仕分けの結果、制度の変革が予想され先行き不透明な状況である。推移を見定めながら町の財政計画に基づき策定する。町長選挙マニフェストで掲げた事業については、国の予算削減の影響を受ける可能性があり、今後の動向を注視している。

**質問** 国の税収も大幅減になると予想され、厳しい予算編成が想定される。

本町は、これまで選択と集中で事業を精査しながら実施してきたが、今後、区画整理事業、下水道事業などの大きな事業も、状況に

## 議員7人が一般質問

よっては、優先順位を付けることも考えられるか。

**沼崎町長** 22年度で前期計

## 事務処理 不正経理・不正契約はないか 「預け」や「私的流用」はない

**質問** 岩手県をはじめとする各地の自治体では、不適切経理、不正経理・契約などが指摘・発覚しマスコミを賑わせているが、本町の管理・監視の状況は。

内容の不透明さが全国的に指摘されているが、町はどのような基準をもって透明性・正当性のある契約を実施しているか。

**沼崎町長** 本町では「預け」や「私的流用」はなかったが、補助事業において問題を指摘されると思われる事務処理が一部で確認された。適正かつ厳格な事務処理を図るために職員に対する周知徹底を図っているところである。

**民間画財政課長** 背景とすれば、主に国の各省庁において、天下一先の公益法人などを相手先とする場合に官製談合の温床になりやすいという批判があった。

**質問** 随意契約については、

町は、法令の範囲内で適正に行っている。今後とも事務の効率化と合わせて競争性・透明性の向上に努めていく。

画が最終し、翌年度から後期計画が始まるので、集中的に議論し出来る限り計画に盛り込み事業を進めたいと考えるが、かなり厳しい作業になると思う。今までの経緯を考えると区画整理事業を最優先事業として考えなければならぬと思う。